

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう

ボールを使い車イスで階段を下りる為の
姿勢の練習（防災訓練 8/24）



アルファ米の作り方講座
（防災訓練 8/24）



目次

☆防災訓練	2・3
☆暑気払いの感想	4
☆8月の出来事、9月からの予定	5
☆夕会報告	6
☆クラブ活動報告	7・8・9
☆懐かしの写真アルバム	9
☆バリアフリーよもやま話（岡本連載） 第86回 「古河太四郎と京都盲啞院」	10
☆運営委員会報告	11
☆メンバーのつぶやき	12・13
☆柳さんのクッキングコーナー	14
☆寄付のお礼	14
☆外に出ようボランティア募集	15
☆所長のつぶやき	16

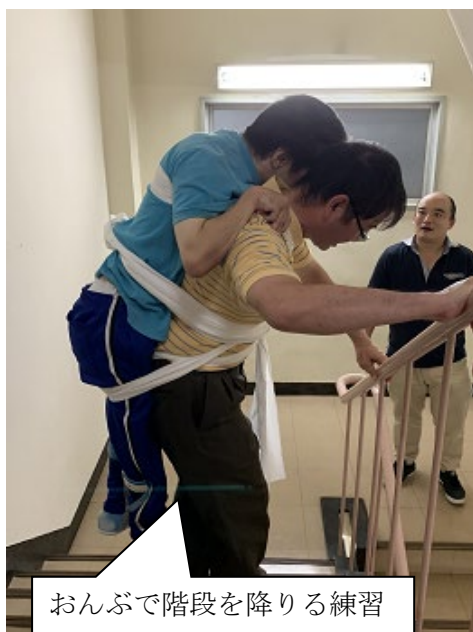
2019年 9月号



～消防訓練報告～

8月24日に実習所にて防災訓練を行いました。この日は、ボランティア、職員で車椅子を階段から降ろす訓練とおんぶで階段を降りる訓練と、そしてアルファ米の調理法を行いました。私自身、車椅子で階段を降りたことがなかったので実際人を乗せて降りたときは落としてしまいそうですごく怖かったです。これは、慣れるまで訓練が必要だと感じました。（次の日腕と腰が筋肉痛でした。笑）

アルファ米は、わかめごはんを作りました。ちいさなおにぎりにして食べました。塩気が効いて美味しかったです。



おんぶで階段を降りる練習

次回は、11月2日（土）です。実際メンバーの車椅子を階段で降りる訓練を行います。場所は、風の子の近辺にある大きな階段です。ボランティアさん、ご家族の皆さん 参加お待ちしております。

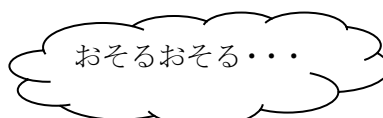
職員 平沼 実華



アルファ米をつくってまあす

車椅子で階段を降りてみる

今回は車椅子で階段を降りる訓練だった。初めに井出さんが詳しい説明をした。それから実際に降りる訓練になった。僕は車椅子に乗る人として参加した。車椅子で階段を降りる経験は父や友人などと何度もしているので慣れているつもりだった。けれど職員にしてもらうのは初めてだったので緊張感を多少感じてしまった。個人的感想を言えば、やや後ろに傾けすぎで視界がほぼ天井だけになってしまうのは少し怖かった。これから何回も訓練をして経験を積み重ねていってほしいと思った。



小野塚 航



重度肢体障害者が5階から避難する！？

～それは訓練というより、挑戦と工夫と実習～ ボランティア 井出義文
火事で実習所の5階から1階に避難することを模索実習しました。

担架（タンカ）での避難については、前回の避難訓練でお風呂入浴用の担架を試したことがあります、実際の災害避難では現実的ではないと考えました。

このビルの階段の踊り場は1.5mしかなく、一般的な担架は長くて、うまく回り切れません。布製の担架（二人介護用）では、50キロ以上の重い水袋を持ち上げるようで、男2人で持ち上げても、5階から1階までに途中で担架を地べたに降ろして休むことができず、バテてしまう危険があります。しかも、脳性麻痺の緊張でバランスがとれず担架から転げ落ちるおそれもあります。やっと降りたとしても、1階で寝転がっているしかありません。地上での待機や移動には車いすがあると助かるのですが・・・

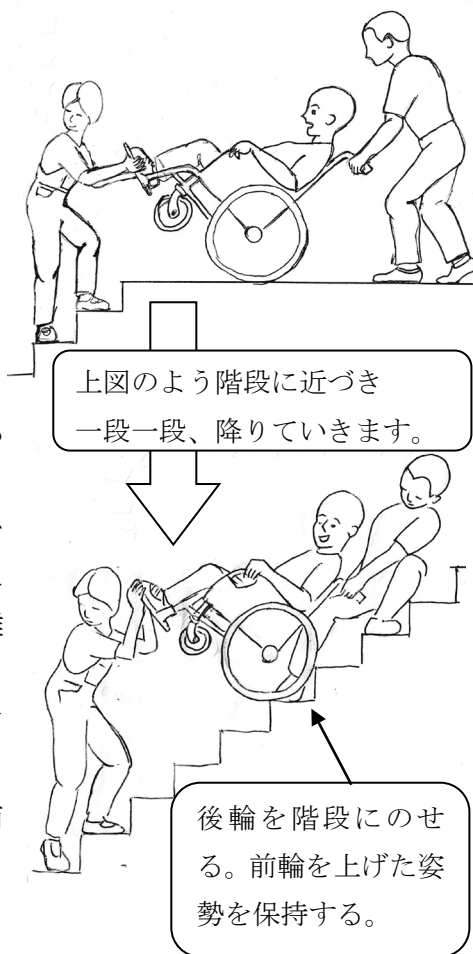
そこで、できれば乗り慣れている車いすを担架代わりにして降りようと決めました。

方法は、絵のとおりです。（実はこの方法は、駅にエレベータがなかった30数年前まで、ボランティアには常識だったのですが・・・）車いすを持ち上げる必要はなく、重みは大きな後輪で階段に押し付けるのです。これなら、普通の体重の人なら2人介助、重い人なら上を2人にして3人介助で、休み休み「どっこいしょ」「どっこいしょ」とゆっくり降りていけます。

しかし、この方法でも、電動車いすでは重すぎて無理です。また、転倒防止の後部補助輪が出っ張っている車いすも補助輪が階段につかえて大きな後輪が浮いてしまい無理です。この場合は、実習所に常備してある普通の車いすに乗り換えてもらいます。

それでも、危険なやり方、注意すべき点、それに多少のコツがあります。また、障害者もこの介助のされ方に慣れていた方がいいので、これからも数回この階段避難訓練を繰り返して行います。

また、晒（さらし）でおんぶして降りる方法についても実習しました。一人の介助者で晒おんぶすることはとても大変でしたが、おんぶして実習したご家族は、「両手が空いて、とても安全に降りられることが分かった」と驚いていました。この方法も実習訓練継続します。





暑気払いを風の子会の皆さんと一緒にしました。

8月24日土曜日

暑気払いについて

僕は初めて暑気払いに参加しました。

いろんな問題が出たので風の子会の皆さんは盛り上がっていました。

僕はまだ未成年ですけど他の方はお酒を飲んでいました。

僕が問題出したらヤジが飛びました。

それでも問題を出すのは初めてだったので緊張しましたがとても頑張りました。

クイズはとても楽しかったです。

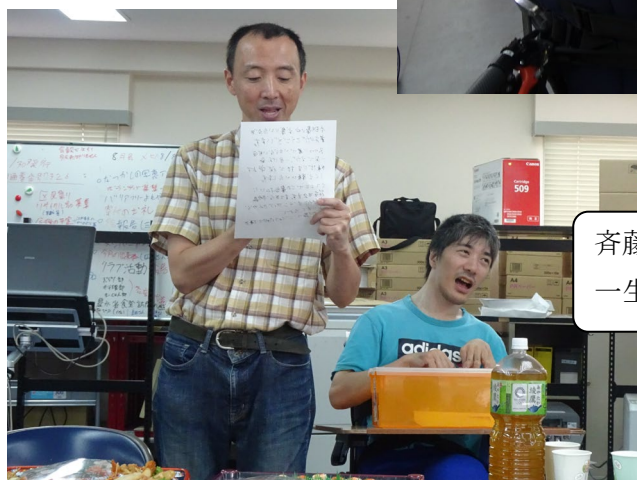
僕はお寿司とおかずを食べました。美味しかったです。

お茶も飲みました。

島田龍司

僕はスイカを食べました。
楽しかったです。

暑気払いを風の子会の皆
さんと一緒にしました。
楽しかったです。



斉藤さんと柳川さんと2人で司会をしました。
一生懸命に頑張っていました。

階段を車いす
で上げる訓練
中！！



8月の出来事

8月7日(水)、芝健診センターにて健康診断

8月10日(土)～14日(水)、夏休み

8月24日(土)、防災訓練&暑気払い。メンバーも・ボランティアさんも、職員のみんな、ドタバタしていました

8月27日(火)、東京スカイツリー&江戸・東京博物館下見。メンバーの三木さんと看護師の沼口さん・田中理事長とドライバーの古池さんの4名で行って来ました。

工房では、8月27日(火)・28日(水)の二日間、内職を行いました。『長寿の祝い』の、菓子の箱詰めの作業をしました。ボランティアさんが連日来てくれ助かりました。ご協力ありがとうございました。

企画では、新しく白テーブルが二卓来て、パソコンを置くスペースが広くなって、とても使いやすくなりました。

メンバー・田中 聡



9月からの予定

9月24日(火)・・・外に出よう・下見

10月1日(火)・・・赤い羽共同募金

10月12日(土)・13日(日)

・・・みなと区民祭り



皆、真面目
に仕事

11月2日(土)・・・避難訓練

11月9日(土)・・・外に出よう

～横浜・八景島シーパラダイス～



夕 会 報 告

8月17日（土）

1, 9月25日（水）～27日（木）に開催される国際福祉機器展見学
今年は行かないことにしました。

2, 暑気払いの進捗状況報告が担当者から報告がありました。

3, 区民まつりに向けて夕会
火曜日にも行います,

9月03日（火）

1, 区民まつりの運営方法

- 「みんなが主人公」という目標を掲げ目指します。

- 担当したい売り場のアンケートを取りました

みんなの広場テント

福祉部会テント 工房製品売り場・バザー品売り場・カレンダー売り場

- お弁当を希望しないメンバーについてのボランティアさんには、昼食代＝500円渡す
事になりました

- 各売り場で、休憩時間を決める事にしました

2, 江戸東京博物館見学

- 日時 9月10日（火）9時45分障害者福祉会館集合

スカイツリーにて昼食後江戸東京博物館見学

- スカイツリーでの飲酒は、禁止となりました

三木 直人





料理部です。冷やし中華とスイカを食べました。

麺をかきまぜた。

良かった

スイカおいしかった。

野田広一



キュウリを切っている島田さん

野田さんは冷やし中華を食べました。



食べた後に外に散歩に行きました。



冷やし中華はとても美味しかったです。

ぶらり部

葛西臨海水族館に行ってきました

8月31日土曜日、風の子会でクラブ活動を行った。今回のぶらり部は東京都葛西臨海水族園に行った。松本さんとさいとうさんが一緒だった。青い魚が泳いでた。クラゲとペンギンもいた。外、噴水で水を浴びた。気持ちよかった。水も飲んだ。

柳川敬事



みんなで記念撮影。
ハイチーズ。

クラゲとツーショット写真



麻雀部

初心忘れるべからず。



ボランティアさんの知り合いが作ってくださった。麻雀牌をきれいに並べるための木枠。

マーじゃんをやり出して何年もたつのですが、今一つルールも分からずやっているの毎回カモにされてます。

早くルール（役）を覚えて、ニコニコの顔で帰りたい。

掛橋 竜也



なつかしのアルバム



2001年から2007年まで風の子は高浜と芝の2箇所で活動を行っていました。この写真は芝作業所メンバーです。

担当・小野塚

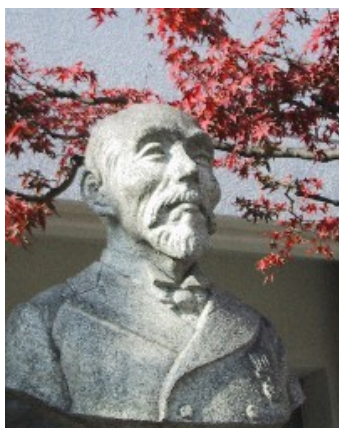


バリアフリーよもやま話

第86回 「古河太四郎と京都盲啞院」

風の子会ボランティア・運営委員 岡本 明

昭和 7（1932）年創立の「光明学校」が日本最初の肢体不自由児の学校だということは以前ご紹介しました。では、盲児、ろう児のための学校はというと、その 50 年も前、明治 11（1878）年に障害児教育の先駆者の古河太四郎（1845-1907）が設立した京都府立盲啞院が日本初とされています。



古河は京都にあった寺子屋に生まれ育ちました。寺子屋にはろうの子どももいて、手まねで話していました。今でいうインクルージョン教育の走りですね。のちに小学校の教師になった古河は、その体験をもとに手まねを言語としての手話にまとめました。これが現在の日本手話の原型です。また古河はあるとき、水不足に悩む農民のために貯水池を作ろうとしたのですが、工事の許可証の偽造容疑で投獄されてしまいました。牢の窓から外を見ると、ろうの子どもがいじめられていました。古河はこの子たちはちゃんと教育されていないからいじめられるのだ、教育の機会を与えなければならないと考えました。また以前、盲の子どもが泣かされているのを見て心を痛めたこともありました。そして 2 年間の服役後、古河は京都盲啞院を設立します。投獄にもめげない不屈の精神ですね（ただ、この話はどうかや伝説のようですが）。

古河は上記のように、もとはろう児の教育が専門だったのですが、小学校教師時代には盲児も受け入れ、京都盲啞院設立後は、盲児の教育方法や「木彫り文字」「盲人用左右対称文字」「さいころ算盤」など先駆的な教材の工夫をしています。点字はまだ日本に伝わっていません。古河の妻コウは「枕元や浴室にはいつも硯と紙を置き、思いついては何かを書いていた」と語っていたそうです。その後もいろいろ苦労もあったのですが、『盲啞も亦（また）人なり』というのが古河の盲児、ろう児に常に注ぐまなざしでした。

明治 31（1898）年、電話の発明者で、聴覚障害児の口話教育推進でも著名なグラハム・ベルが来日した際には古河も面会しました。ベルは古河の業績を称賛し、当時、ある事情で不遇な状況にあった古河のことをお役所に伝えて盛り立てたということです。また、平成 27（2015）年には古河の生誕 170 年記念として、パソコンの検索ソフト「GOOGLE」の検索ロゴに古河が考案した木彫り文字や指文字がデザインされました。



メンバーのつぶやき

ヘルパーが増えた話

この頃月曜日が担当の、ヘルパーさんが増えました。そしてそのヘルパーさんの事を、書いてみたいと思います。これまでは散歩をさせてくれるのは、一人だけだったのですがそのヘルパーさんが毎回連れて行ってくれるようになりました。だから僕は大変うれしいのです。



太田稔

松ちゃんのちょっと一言

文書 - C:\Users\DENUSER\Documents\DenNoSin*文書*新規文書20190913130308.rtf*

岡本さんやすみです
本人から
話がありました
寂しい

句	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	わ
漢	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	を
削	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	ん
改	え	け	せ	て	ね	へ	め	、	れ	一
川	お	こ	そ	と	の	ほ	も	。	ろ	記
戻	盤	移	編	削	時	頁	削	空	送	顔
⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄	⇄

スイッチ入力でスキャンを開始します 定型句の候補はありません。



メンバーのつぶやき

映画の感想

日曜に新海誠の天気の子を観ました。
最初はアルバイトで都市伝説の新聞記者を初めたのですが天気を100%あてる少女と出会い、主人公はその子が天気をあてるため色々と創意工夫をしますが、ヒロインが天気をあてるのと引き換えに体がだんだんと薄くなって行く現象に襲われます。でも途中で警察が嗅ぎつけて警察にヒロインが追われてしまいますそれでも反抗を試みる主人公たちに僕は気づいたら涙目でした。ストーリーはもちろん感動しました是非1度！！

塚田愛基



これかも頑張りたいです。

僕は風の子会に入って半年近く経ちました。
僕は今、パソコンで会報の編集をしています。
僕は今年の10月に行われる区民祭りの担当に初めてなりました。
僕の目標はお客さんに楽しんでもらえるように頑張ることです。
最初の時は実は僕は緊張して何も喋れませんでした。
僕はそれでも徐々に慣れてきました。
編集の仕事が出来て楽しいです
引き続き頑張ります。

島田 龍司



～ 運営委員会報告 ～

運営委員会とは、会長に選任された運営委員で構成され、会の運営に関することを話し合って決める機関です。運営委員にはメンバーも職員もボランティアも含まれていて、月に1度集まって様々なことを話し合っています。

2019年9月の運営委員会内容

- ・防災関連
→先月行った防災訓練の感想と反省の集約、災害発生時の具体的対策、今後買い揃えるべき備蓄品について、など話し合った。
- ・事故報告
→8月4日に起きた事故についての報告があった。
- ・職員の運転講習について
プランニングとスケジュールの説明がされた。
- ・ホームページについて
→外部委託等、引き続き継続議論していく

これらについて話し合いました。

会議前の食事風景



運営委員・小野塚



「柳さんのクッキングコーナー」

フライライス

② 冷凍食品の魚フライを電子レンジで
1分温めます。

② 温かいライスの上に
魚フライを載せてタル
タルソースをかけて
出来上がりです。



柳川敬事



ご寄付ありがとうございます。（8月19日～9月1日）

小林 絵莉様、渡辺 一元様、株式会社アヤエンタープライズ 橋本
年男様、飯田 キエ子様、新井 厚様

物品ご寄付ありがとうございます。

切手（3,380円分）・・・小西 雅子様



『外に出よう』ボランティア募集

私たちの車イスを押して下さいませんか？
（私たちと一緒に、一日色々と冒険しよう！！）

日時 11月9日（土）
時間 午前9時30分～午後4時
行先 八景島シーパラダイス

参加費 1,000円
（学生 500円）
集合・解散場所 田町駅芝浦口

問い合わせ先
風の子会 高浜生活実習所
港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階
TEL 03-6809-4001
メールアドレス kazenoko@kazenokokai.or.jp



募集締め切り・10月31日（木）
担当・小野田・小野塚・田中・岡本



『外に出よう』

ボランティア募集

私たちの車イスを押して下さいますか？

（私たちと一緒に、一日色々と冒険しよう！！）

日時 11月9日（土）

時間 午前9時30分～午後4時

行先き 八景島・シーパラダイス



参加費 1,000円

（学生 500円）

集合・解散場所 田町駅・芝浦口

問い合わせ先・・・

風の子会 高浜生活実習所

港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03-6809-4001

メールアドレス：

kazenoko@kazenokokai.or.jp

募集締め切り・10月31日（木）

担当・小野田・小野塚・田中



所長のため息

最近テレビで、あおり運転が問題となっています。風の子会の運転手は全員、安全運転を心掛けています。しかし、自分の運転をもう一度、見直してみようということで運転講習を受けることになりました。講習時間は2時間で風の子のキャブを使って行いました。講習当日、いつも使い慣れているキャブでしたが、教官が隣りに座っているというだけで緊張しました。

実際に受けてみて感じたことは、慣れとは怖いものだということです。正直、運転については多少なりとも自信を持っていました。しかし、講習を受けてみると注意されることが多く、天狗？になっていた鼻をへし折られた気分でした。自分にとっては気持ちを新たに、そして引き締めてくれる、とても良い講習となりました。

岡本裕介

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

企画編集メンバー

太田 圭子	幸 高史
太田 稔	和栗顕太郎
小野塚 航	柳川 敬事
田中 聡	三木 直人
塚田 愛基	松本 恵司
信高 正義	島田 龍司

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型
〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧6-26-21